

(株)遠野テレビ企画総務グループ  
佐々木浩章マネージャー



2005年12月のNHK盛岡放送局地上デジタル放送開始に合わせ、遠野テレビでもすでに放送を開始しています。

本年4月に住田町が実施した難視聴対策解消事業にも、遠野テレビが一翼を担いました。

「ショッピングセンターとびあ」のセントラルコートには、地デジ体験ブースを設けています。ぜひ、デジタル放送ならではの魅力を体感してみてください。

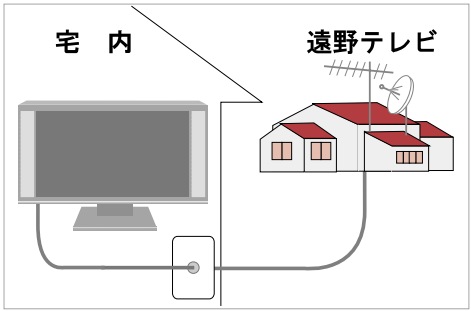
遠野テレビでは地上デジタル放送に関する疑問などにもお答えしていますので、お気軽に相談してください。



とびあに設置している地デジ体験コーナー

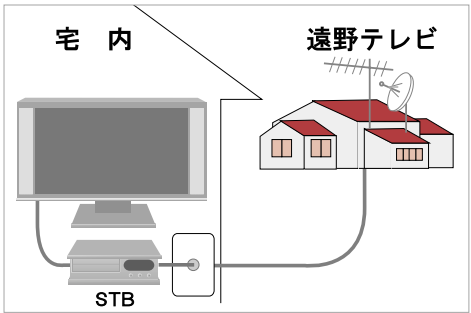
### ■パススルー方式

CATVで受信した地上デジタル電波をそのまま伝送する方式。地デジチューナーや地デジチューナー内蔵録画機器などを使って地デジを受信することができる。家庭にあるアンテナで受信する方法と同じ環境でテレビが視聴できる。



### ■トランスモジュレーション方式

ケーブルテレビ(CATV)で受信した地上デジタル電波を、CATV用の信号に変換して伝送する方式。専用のセットトップボックス(STB)を設置することで、デジタル・アナログ、どちらのテレビでも地デジを視聴できる。



「パススルー方式」は、地デジ対応のテレビや地デジチューナーとの接続で、デジタルの魅力である高画質・高音質や、多彩なサービスを楽に楽しめます。

「トランスモジュレーション方式」は、セットトップボックス(以下、STB)を設置することで、地デジ対応のテレビでも、これまでのアナログテレビでも地デジを受信することができます。すでに

デジタル化に伴う難視聴対策も万全。希望があればどなたでも加入できます。

遠野テレビでは、受信した地デジの電波をそのまま伝送する「パススルー方式」と、CATV用の信号に変換して伝送する「トランスモジュレーション方式」の両方に対応しています。

加入している家庭には、現在使用しているホームターミナルに替えて、地デジに対応したSTBを順次設置しています。地デジ対応テレビを購入した世帯には優先して設置しますので、遠野テレビに連絡してください。

市情報推進課の伊藤貴行(いとうたかゆき)報整備係長は「アパートなどの集合住宅では、地デジ放送への設備に経費がかさむ場合もあります。市は、集合住宅の工事費補助や新規転入世帯への加入金減免措置も講じています。三年後の地デジ移行に向けて、アンテナで受信する場合と、遠野テレビ加入の経費を比較するなど、早めの検討が大切です」と話します。

二〇〇一年に遠野テレビを開局するなど、早くから情報化の推進に取り組んできた本

市。あと三年後に控えた地上デジタル放送完全移行の波にも、遠野テレビは大きな力を発揮することでしょう。

### ■遠野テレビの加入金など

	加入金	宅内工事費	基本使用料	備考
通常	63,000円/世帯	実費負担	3,150円/月	加入金は年度内に限り4回まで分割可能
集合住宅	63,000円/棟	1世帯あたり1万円を補助	3,150円(各世帯)/月	申請が必要
新規転入世帯(1年以内)	21,000円/世帯	実費負担	3,150円/月	申請が必要
引込線が配線済みの住宅	21,000円/世帯	宅内配線の状況による	3,150円/月	集合住宅も含む

## 遠野テレビでも、地デジは見れるの？ お金は掛かるの？

### ■中継局ロードマップ(3月31日公表)

中継局名	※( )は整備年度				
	NHK	IBC	TVI	MIT	IAT
遠野	置局(2007)	置局(2007)	置局(2007)	置局(2007)	置局(2007)
遠野綾織	置局(2010)	非該当	ケーブル	非該当	非該当
遠野小友	置局(2010)	ケーブル	ケーブル	非該当	非該当
宮守	置局(2010)	ケーブル	ケーブル	ケーブル	自力建設困難
宮守達曽部	置局(2010)	ケーブル	ケーブル	ケーブル	非該当

※NHK…日本放送協会、IBC…IBC岩手放送、TVI…テレビ岩手、MIT…岩手めんこいテレビ、IAT…岩手朝日テレビ、「非該当」はもともと未設置局

### 地デジ普及の救世主 遠野テレビも配信を開始

本市のケーブルテレビ(以下、CATV)「遠野テレビ」は、県内のCATV局に先駆けて地上デジタル放送に対応。盛岡親局波を物見山にある遠野テレビ受信施設を介してケーブルで各家庭に配信しているため、アンテナの設置も不要です。ケーブルは市内全域をカバーしていますので、

高画質・高音質などのメリットが強調されている地デジですが、デジタル化に伴う中継局などの改修や、アナログに比べ電波障害を受けやすいという電波の特性から、テレビが受信できなくなる「新たな難視聴地域」の発生が課題とされています。

デジタル中継局の整備は放送事業者が行うことになっていますが、膨大な費用が掛か

ることなどから、なかなか整備が進んでいないのが現状です。県内の放送事業者で構成する「岩手県地上デジタル放送推進協議会ワーキンググループ」では、中継局のデジタル化を効率的に進めるため、整備の共同化などについて検討しています。

そうした中、総務省が三月末に発表した中継局ロードマップで、本市にあるデジタル化未整備の中継局(綾織、小友、宮守、達曽部)について、NHKはデジタル化整備を計画。しかし、残る県内民放四社は「ケーブル」(遠野テレビ)を活用の意味。または「自力建設困難」と表記し、今後整備をしない見込みであることを表明しています。

## 民放4社は、遠野地域の中継局整備を行わない方針を決定

### 岩手県地上デジタル放送推進協議会ワーキンググループ

県内の放送事業者で構成する「岩手県地上デジタル放送推進協議会ワーキンググループ」では、デジタル化に向けた県内の中継局整備について検討を重ねています。

県内放送事業者は3年後に迫ったアナログ放送停波に向け少しでも早く中継局を整備しようと、経費を低廉化できる共同での中継局整備を進めています。しかし、広大な面積の上、山間部が多い本県は中継局も相当の数があり、思うように整備が進んでいないのが現状です。

そうしたことから、IBC岩手放送、テレビ岩手、岩手めんこいテレビ、岩手朝日テレビの民放4社は、本市においては既に全域にケーブルテレビ網が整備されており、地域内で格差無く全局の番組が視聴可能な環境である中継局を置局したとしても「新たな難視聴地域」の発生が避けられないことから、物見山に整備した遠野中継局以外の中継局整備を行わない方針を決めました。

03

地デジの課題は難視聴。遠野テレビは地デジへの移行にも完全対応

## 遠野TVで地デジ

### 期限迫る地デジ移行 課題は新たな難視聴対策

高画質・高音質などのメリットが強調されている地デジですが、デジタル化に伴う中継局などの改修や、アナログに比べ電波障害を受けやすいという電波の特性から、テレビが受信できなくなる「新たな難視聴地域」の発生が課題とされています。

デジタル中継局の整備は放送事業者が行うことになっていますが、膨大な費用が掛か